

リハビリテーション科

診療科の概要

整形外科や小児神経科、遺伝診療科、血液腫瘍科など当センター他科から紹介された入院患者さんを中心に診察し、適切なリハビリテーションを処方します。またリハビリテーション実施中も、患者さんの機能回復の一助となるよう、定期的に診察を行っています。さらに、目標を達成しリハビリテーションを終了した患者さんに対しても、成長の過程で新たな課題が出てこないかを、診察にてフォローしています。当センターのリハビリテーション科は、「早期のリハビリテーション介入」を重要な任務と位置づけ、地域のリハビリテーション実施施設との連携をとりつつ、患者さんが住まれる地域でのリハビリテーションへの、「速やかな移行」を目指しています。また、装具や車いす、座位保持装置、歩行器などの作成を通じて、障害を持つ子どもたちの社会参加を促す援助も行っています。2020年4月現在、リハビリテーション科には医師1名、リハ・育療支援部門には理学療法士4名、作業療法士3名、言語聴覚士4名が在籍しています。



主な対象疾患

当科では、脳や脊髄あるいは手足に何らかの障害を持ち、正常な運動発達が妨げられる可能性のあるこどもに対して、機能向上・社会参加を目指してリハビリテーションの導入をしています。また最近では、呼吸に障害をもつこどもたちや、小児がんを患ったこどもたちへのリハビリテーションにも介入しています。

診療実績(2022年)

2022年は新規患者のべ391名(理学療法211名・作業療法180名)で、外来からの紹介21名、入院での紹介370名でした。



主任部長
田村 太資